



ケアを社会の中心に

ケアする人を、 社会がケアするまちへ

「介護者を支える「まちの仕組み」を」

親の介護を経験してきた方、仕事を通じて日々ケアと向き合っている方、介護福祉士として現場に立ってきた方たちとともに、ケアをめぐる課題について語り合いました。
介護する人自身の孤立や疲れ、深刻な人手不足。社会を支えるうえで欠かせない「ケア」にかかわる当事者のリアルな声を通して、ケアを大切にする社会のあり方を考えます。

ケア者の孤立を防ぐために

玉正（八王子市議会議員） 皆さんそれぞれケアのご経験をお持ちですが、特に大変だったのはどんな時でしたか。

望月（家族ケア当事者） 八王子と山梨を行き来しながら、山梨に住む両親の介護を約10年間続けました。月に2回ほど八王子へ帰ってきた時が、私にとって大切なリフレッシュの時間でした。私は2か月に一度、いつも髪を切ってくれる美容師さんにこぼしていました。気持ちの吐き出せる時間があつたからこそ、介護を続けることができたのだと思います。介護をしていると、自分の時間も心

の余裕も少しずつ失われていきます。

内野（なんでもしやべり場メンバー） 話せる場があることはとても大事だと思います。私は介護の「しやべり場」を15年続けてきました。誰かに話すだけで気持ちが軽くなることがある。話すことは、その人の気持ちを支える力があります。

玉正 地域包括支援センターにも、もつと早い段階から相談できる仕組みや、地域の支え合いを広げていくことは必要です。岸さんは介護の仕事に長く携わられていますね。

岸（介護福祉士・家族ケア当事者） 介護福祉士として現場で働いていますが、当時は夜勤で、多いときで28人ほどを一人でみていました。ナースコールが鳴りっぱなしの日は、1時間の休憩も取れません。心に余裕を持って一人ひとりに向き合いたくても、時間がまったく足りません。

小川（ACT自立援助サービスバードハウス） そんな状況では、支援する側に余裕がなくなつて、結局しわ寄せは利用者さんに向かってしまいますよね。

岸 現場としても、家族と施設がもつと早い段階から、率直に話し合える関係を築けるといいなと思います。「困っている」と言えること自

体が、まず大事な一歩です。

自治体がケアを支える仕組みを

金子（八王子市議会議員） 国は訪問介護報酬を引き下げたり、人員配置を見直したりと、ケアの現場を支えるより効率化を優先する方向に進んでいます。杉並区では公契約条例を通じて、区の委託事業で働く人（ケア労働者含む）の労働条件を守る仕組みがあります。ケアを大切にするという自治体の姿勢が、福祉サービスの質の向上につながります。

岸 ケアを仕事にする人の（フォローアップ）研修も必要です。「ケアの倫理」を学ぶ場がないと、ケアの質が保てなくなってしまうと思います。ケアは人の尊厳に向き合うことです。人手不足だからと言って誰でも良いという話ではないはずです。

地域で育む支えあい

内野 三鷹市では、「ケア三鷹モデル」ケアする人を大切にするまちへの推進について」という陳情が、6月の市議会で全会一致で可決されました。ケアする人が孤立しないよう、地域全体で支え合う仕組みを広



げようという取り組みです。例えば、商店や事業所などが協力し、「お茶を飲める」「トイレを利用できる」など、ケアする人を応援する仕組みを広げようというものです。

望月 思い返すと、私が介護をしていた2008年ごろは、2000年にできた介護保険制度に支えられていたんだと思います。「介護は家庭だけの問題ではなく、地域全体で支えるもの」という意識がまち全体に広がると、ケアをしている側は本当に救われると思います。

内野 私たちの世代では結婚で介護が保障されているみたいに考えられてきた。だから、女性たちがこれを変えていきたいと「介護の社会化」をずっと求めてきて、ようやくできた介護保険制度だったのね。今では、最期まで自分らしく自宅で暮らしたい人にとって重要な訪問介護も継続が難しくなつて...

小川 家族のいない人や経済的に厳しいような、本当に困っている人にこそ、公のサポートが必要ですよ。

玉正 そうですね。市民・事業者・行政が連携し、ケアする人を大切にするまちづくりを進めることが、誰も取り残さないまちづくりにつながっていくと思います。ケアラー支援の視点を自治体の施策に位置づけていくことが重要だと思っています。

落合恵子講演会

「悲観にも楽観にも 傾かず 自分を生きる」

日時：2026 年 10 月 25 日（日）
14:00～16:00
会場：八王子生涯学習センター5階
（クワイエットホール 八王子市東町5-6）
入場料：1,000円（全席自由）
要申込み
定員：230人
主催：生活クラブ運動グループ
八王子地域協議会
問合せ：090-4433-3485（内野）

申込みは、右記の
QRコードから→



まとめにかえて

「八王子・生活者ネットワークからの提案

- ◆座談会を通じて見えてきたのは、介護する人自身が孤立し、疲れ、時に理不尽な思いを抱えたまま、それでも声をあげられずにいる現実でした。また、認知症の親をケアしている方からは、制度を使っても時間が短く、このような話ができる場に出かけることすらできないという声もあります。
- ◆「ケアする人のケア」は、決して特別なことではありません。誰もがいつか介護する側にも、される側にもなります。八王子・生活者ネットワークは、次のような取り組みを提案します。
- ◆三鷹市の「ケアする人を大切にするまち」モデルを参考に、八王子市でもケアラー支援の啓発と地域連携を進めること。
- ◆地域包括支援センターの存在や役割について、周知をさらに強化すること。
- ◆介護者同士が語り合える「しやべり場」のような地域の居場所づくりを、行政が支援すること。
- ◆訪問介護や夜勤の人員配置など、現場の実態を国や都に届けていくこと。
- ◆地域包括支援センターの運営費の増額や、介護人材活動への経費補助を充実させた取り組みをすすめる。
- ◆「ひとりでは抱えない」ためには、家族の努力だけに頼らない、まちぐるみの仕組みが重要です。八王子・生活者ネットワークは、「ケアする人もされる人も安心して暮らせるまち」のさらなる充実を目指し、これからも考え、提案していきます。

ケアする人が報われてこそ、
ケアされる人の尊厳も守られる

2027年 統一地方選挙にむけて、2期目に挑戦 金子アキコと、玉正さやかの擁立を決定

かねこ 亜希子

金子アキコ



金子アキコの FB・インスタをチェック！

たましょう 彩加

玉正さやか



玉正さやかの FB・インスタをチェック！

都市環境委員 議員運営委員
都市計画審議会委員

◆2026 年第2回八王子市議会定例会議会報告 [一般質問]◆

厚生委員 まちづくり公社諮問委員
表彰審査委員会委員

P F A S 対策の推進に向けて

P F A S による地下水や河川、水道水源への影響は全国的な課題です。本市では昨年度の地下水調査で国の基準を超える地点が確認されたことから、その原因や今後の対応について確認するとともに、国の基準改定を踏まえた飲用井戸設置者への周知・対応について取り上げました。また、P F A S がこれまで様々な産業分野で広く使用されてきたことを踏まえ、事業者に対する啓発や注意喚起、P F A S を含まない泡消火剤への転換促進を求めました。本市の環境基本条例^{*1}に照らし、環境保全や健康への影響を踏まえ、市民の不安に丁寧な寄り添った取組を要望しました。

^{*1} 八王子市環境基本条例 第10条：市は、市民の健康で安全かつ快適な生活のため、大気汚染の防止、水質汚濁の防止、廃棄物の適正処理その他の良好な生活環境の保全等に努めるものとする。

データセンターと地域の未来を考える

現在、多摩ニュータウン地域に本市初のデータセンター^{*}建設が持ち上がっており、周辺住民より不安の声が寄せられています。大量の電力消費に伴うC O 2 排出量増大や排熱等、環境影響が懸念されるにも関わらず、都市計画上の用途地域の制限が無いに等しく、環境アセスメントの実施が不要であることなど、データセンターについて法的規制がない現状は問題です。用途地域、環境影響、市民への情報公開の側面から質問を行ったところ、今後データセンターが建設される際には、国の規制がないことから住宅地周辺に建設される可能性は避けられないとしつつも、事業者に対して環境影響を考慮して再生可能エネルギーや排熱利用を行うよう働きかけ、早期段階からの住民

生活保護利用者の生活の安定と自立の助長に向けて

生活保護制度における「自立の助長」は、就労による経済的自立に限らず、健康で安定した生活を送るための日常生活自立や、地域とのつながりを持ちながら暮らす社会的自立も含まれます。自立の助長という観点から家具什器費^{*2}や医療機関の選定、預貯金の取扱いについて本市の運用を確認しました。また、経済的自立を支えるためにも、社会とのつながりや関わりを築くことが重要であることから、ケースワーカーだけでなく、庁内の関係部署や地域の関係機関、民間団体などが連携し、一人ひとりの状況に応じた支援の充実に要望しました。

^{*2} 家具什器費・・・住居を確保して新たな生活を始める際などに、最低限必要な家具や家電等を整えるための一時扶助

説明や協議の調整に努めていくとの答弁がありました。

^{*} データセンター：ネットワーク設備等IT機器を集約設置し効率よく運用するために作られた専用施設。デジタル社会の基幹インフラとして全国各地で建設が進められている

長期休業中の子どもたちに安心して過ごせる居場所を

夏休み等長期休業期間中、近隣に「はちびバ」(児童館)や放課後子ども教室の実施等公的な子ども居場所の不足する地域では、民間の子ども食堂等が実質的に地域における子どもセーフティネットの役割を担っています。今回5月15日にこども家庭庁より「夏休休業期間中の酷暑対策及び食支援に係る各支援策の活用について」との緊急の通知が出されたことを受け、今年の夏休みに向けて国・都補助を活用し、民間の子ども支援団体に対する支援強化を訴え、検討する旨の答弁がありました。

2026 年度八王子市一般会計補正予算（第一号）に反対

私立小中学校給食費等負担軽減補助金について、その補助対象を一条校^{*1}に通う児童の保護者に限定しており、(一部を除く)一条校にあたる教育施設^{*2}を補助対象から除く運用とすることに対して反対しました。

^{*1} 一条校：学校教育法第一条で国が正式な教育機関と定める学校のこと。本事業においては私立小・中学校、私立一貫校の小中学部、特別支援学校の小中学部、国立大学附属小中学校などを指す

^{*2} 一条校にあたる教育施設：無認可校、オルタナティブスクール、インターナショナルスクール、朝鮮学校など

質疑動画はこちらから



質疑動画はこちらから



学習会



4.12 「沖縄から考える、アジアの一員としての平和」布施祐にさん講演会 主催：沖縄とつながる八王子の会 協力：八王子・生活者ネットワーク

政策ミーティング（定期開催）

玉正さやか・金子アキコの八王子市議会報告や身近な政治の話題で語る



4.1 @北野市民センター 市民と金子アキコの政策ミーティング



4.20 @浅川市民センター 市民と玉正さやかの政策ミーティング

政治カフェ（定期開催）

テーマ本を選択し、本の紹介とともに感想を語り合う



6.2@北野市民センター テーマ「暮らしと憲法」

八王子のまちを、ともに作りませんか？

生活者ネットワークの活動は、カンパとボランティアで支えられています。カンパは1口 1,000 円から、いくらでも、いつでも受け付けています。

【ゆうちょ銀行】
八王子・生活者ネットワーク
記号) 00130-6-546400
支店名) 019 当座 0546400

※政治資金規正法により、匿名での寄付は禁じられています。お振込みの際には、ご住所・お名前・ご職業を明記いただくか、別途お知らせいただきますよう宜しくお願いいたします。

こんなことをしています



5.17@世田谷 民主主義フェスティバル 2026 (年に1回、みんなで社会課題について議論するお祭り) 主催：日本若者協議会 (中央：玉正さやか)



6.14 NOWAR八王子ペンライトアクションに参加



5.3「つながろう 憲法いかして平和な世界を! 2026 憲法大集会」@有明防災公園に参加

国政へ



7.1@参議院議員会館 全国市民政治ネットワークで「包括的性教育を求める要請書」提出

都政へ



7.7 データセンターヒアリング

選挙



2026.7 調布市長選挙 木下やすこの応援に